

8-1-9 広報専門委員会

1. 広報専門委員会の概要

広報専門委員会は、広報戦略委員会の下部組織として、広報戦略委員会で検討した年間活動方針等に基づく機能的実行部隊として活動している。

戦略的な広報活動の実践のため、専門委員会内に以下のWGを設け、具体的な活動を進めた。

(1) 建設関連業イメージアップ促進協議会

国土交通省建設市場整備課の呼びかけに基づき、全測連・全地連と連携して協議会を組織し、事務局を担当する。活動内容は、主として大学・高専等への説明会の開催。

(2) 学生講座WG

建設コンサルタントに対する学生への理解を深める広報活動を検討、実施する。建設コンサルタントとは何かを伝える中で、職業としての夢を持ってもらえるような活動を企画。

(3) 一般・社会人広報・ホームページWG

社会人を対象とする広報活動の検討、実施と一般・社会人向けの具体的な広報ツールを制作。また、協会HPの運用等に対して改善策を企画提案。建コンフォト大賞入賞作品を活用したカレンダーの制作。

(4) 協会イメージアップ企画WG

小学生・中学生を対象とする広報活動を検討、実施。『暮らしの中の土木』として、コンサルタント、協会のイメージアップ活動を企画。

2. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の開催

隔月で専門委員会を開催することとし、令和2年度は、5、7、9、11、1、3月の6回を開催。

(2) 建設関連業イメージアップ促進協議会

平成24年度から活動を開始。今年度は2大学と1高専で計3回のオンライン方式による業界説明会を開催した。各学校が新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン授業を実施していたため、Web会議システムを活用した説明会を実施した。実施した学校は、東海大学、東京理科大学、木更津工業高専であり、受

講者数は合計160名であった。

(3) ワーキング(WG)による活動

a) 学生向け業界説明会資料の制作

各支部が実施する学生向けの説明会用資料として、建設コンサルタントの仕事の内容や魅力を伝えるPPT資料の改訂を行い、協会支部へ提供した。また、建設コンサルタントの職業を映像で紹介するリクルート用リーフレットの改訂に向けた検討を行った。印刷は令和3年度に行う事とした。

b) 建コン協カレンダーの制作

昨年に続き、建コン協カレンダー(2021年版)を制作した。第11回建コンフォト大賞(2019年度実施)の入選作品13点を活用し、A3判二つ折りのカレンダーを20,000部制作。協会広報誌「Consultant」289号(10月発行)発送時に同梱したほか、支部開催のイベント行事等でも配布した。

c) 学生向けリーフレット・ポスターの制作

学校説明会等で、建設コンサルタントの仕事の内容や魅力を伝えるリーフレット(3,870部)とA3版ポスター(345部)、A1版ポスター(92部)を印刷し協会支部へ配布した。

d) 災害時等に着用するジャケット類の制作

災害時等における建設コンサルタントの貢献を業界内外に示し、職員のモチベーションの向上を図ることを目的にジャケット類をデザインし製作した。各支部の希望数量を基に、通年用ブルゾン190着、防水防寒ブルゾン140着、安全ベスト2,731着、汎用腕章3,382個を製作し配布した。

e) 「土木×落語」の企画(新作落語制作)

土木インフラや土木技術者の役割を題材にした建設コンサルタントのイメージアップ企画として新作落語(水屋の夢:25分)を制作した。柳家小きん師匠による口演をYouTubeにより動画配信を行った。また土木×落語の制作エピソード(落語家との対談)動画も同時配信した。

(広報専門委員会委員長 宮内 和則)